

NCC畜産ニュース

繁殖農家のIT活用法

moopadユーザーを訪ねて

日本の肉牛の歴史は必ずしも長くはないが、その中で試行錯誤を重ねて良質の肉を作れるようになった。政府は、牛肉の輸出を国の重点課題としているが、そのためには今後も技術を高めていくことが必要なことだ。

牧場仲間とのネットワークを大切にして情報交換を行い、「仲間がいるからがんばれる」と語る田畑さんに、繁殖農家でのIT活用について聞いてみた。

たばた牧場

(大分県杵築市)

大分県杵築市は国東半島の南端にあり、市の中心部は「坂道の城下町」として知られる歴史的な町並みを残している。周辺には牧場

が多いが、広々としたこの「たばた牧場」もその一つで市を見下ろす山の中腹にある。

ここはもともと酪農が中心だったが、父の代から肉牛の肥育や繁殖も始めた。家族でやっているが、今回話を聞かせてくれた田畑大樹さんが担当している繁殖では、現在の肉牛の頭数は130頭程度だという。

たばた牧場には、牛だけではなく動物がたくさんいる。猫や犬から、馬やヤギ、ミニブタなど動物園のよう



たばた牧場はいつも賑やか

繁殖農家の技術向上とITの融合



たばた牧場のみなさん

moopadは使い勝手が良い

moopadについては以前から話は聞いていたが、最近使い始めたという。過去に別のシステムを試したこともあったが、サポートが十分でなかったり繁殖向きではないと感じることもあったらしい。

moopadの使い勝手を見てみると、「これはいいと思います」という。証明書などの印刷ができて楽になるし、スマホからデータを簡単に入力でき



moopadはスマホからデータ入力できる

肉牛の分娩期間の短縮があり、moopadはそれに貢献できるだろうという。

たばた牧場では、採卵や移植もやっているのですが、移動も残すことができれば分娩期間が分析しやすくなることも話していた。

実は大分県の課題として肉牛の分娩期間の短縮があり、moopadはそれに貢献できるだろうという。

そんな中で経験と技術を持った田畑さんは、頼られる存在ではないかと思う。

「自分だけ成功しても仕方がない。みんなやらないと」「仲間がいるからがんばれる」といった話を何回も聞いた。

【お問い合わせ】
株式会社日本コンピュータ
コンサルタント CS部
福岡市博多区博多駅東1-11-5 アサコ博多ビル8F
TEL 092(411)8259
担当・高倉まで

moopad
(ムーパッド)
クラウド型繁殖管理システム

畜産農家の強い味方！
ビッグデータで、もっとラクに、確実に！

寄稿・中小企業診断士
北岡 正一



たばた牧場を訪れて